

令和元年度 加工施設施設定期検査について

令和元年 12 月 16 日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
人形峠環境技術センター

1. 本年度の施設定期検査の検査項目

本年度の施設定期検査については、施設の運転状況が昨年度検査時と変わらないため、表 1 に示す検査項目とする。

このうち、表 1 の区分欄「1」で示された 14 項目は、維持管理に不可欠な活動のために性能を維持するのに必要な項目であり、検査を実施する。

表 1 の区分欄「2」で示す 10 項目については、平成 29 年 3 月以降、当該検査に係る設備を用いて、核燃料物質等を扱う運転は行っていないこと及び新規制基準施行後、経過措置の 5 年が過ぎたことから、今後の使用予定もなく、検査を受検できる状態ではないため、検査を行わない。

なお、建物・構築物の健全性確認に関する検査は、東日本大震災による緊急点検及び建物の健全性確認の評価結果を踏まえ、実施してきたが、今後は、事業者の保守点検の中で健全性の確認を実施し、維持管理していきたいと考える。そのため、平成 30 年度と同様に、検査項目から当該検査を削除する。

表 1 検査の対象と検査項目

検査の対象	検査項目	区分
非常用設備	自動火災報知設備の警報作動検査	1
加工設備本体	工程用モニタの警報作動検査	2
廃棄施設	負圧警報作動検査	1
廃棄施設	放射性液体廃棄物処理施設の液面高検知警報の作動検査	1
加工設備本体	温度・圧力異常警報の作動検査	2
非常用設備	非常用発電機の作動検査	1
非常用設備	無停電電源の作動検査	1
廃棄施設	放射性気体廃棄物処理施設の処理能力検査	1
廃棄施設	放射性液体廃棄物処理施設の処理能力検査	1
放射線管理施設	排気用モニタ警報の作動検査	1
廃棄施設	送排風機の起動停止シーケンスの作動検査（含む負圧維持）	1

検査の対象	検査項目	区分
加工設備本体	シリンダ槽の温度・圧力異常高（加熱停止）インタロックの作動検査	2
加工設備本体	均質パージコールドトラップの温度・圧力異常高（加熱停止）インタロックの作動検査	2
貯蔵施設	搬送設備の停電時保持能力検査	1
廃棄施設	第1種管理区域の負圧確認検査	1
廃棄施設	ろ過装置の性能確認検査	1
加工設備本体	六フッ化ウラン漏えい拡大防止インタロックの作動検査（緊急しゃ断弁）	2
廃棄施設	工程用モニタ異常インタロックの作動検査（排気系）	2
廃棄施設	配管フードの機能検査	2
加工設備本体	シリンダ交換時インタロックの作動検査	2
加工設備本体	シリンダ槽の重量異常高停止インタロックの作動検査	2
加工設備本体	系内圧力の確認	2
廃棄施設	保守フードの面速検査	1
貯蔵施設	原料・廃品シリンダの確認検査	1

2. 検査を受けようとする期日

第14回（その7）（令和元年度）

検査受検期間（予定）令和2年2月17日～3月31日

— 以上 —